



健大高崎



千葉英和一健大高崎 5回裏健大2死二塁、内田が長坂をかえす右翼線三塁打を放つ=甲府市・小瀬球場

関東4強夏春甲子園

セ ン バ ツ ッ ッ 当 確

秋季関東高校野球

▶準々決勝

千葉英和	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健大高崎	0	3	2	0	1	1	×	1	7

(7回コールド)

【山梨=春山未央記者、山田浩之カメラマン】第64回秋季関東地区高校野球大会第4日は1日、山梨・小瀬スポーツ公園野球場で準々決勝を行い、健大高崎(群馬1位)は第

1試合で千葉英和(千葉1位)と対戦し、7-0でコールド勝ちした。先発の三木敬太(2年)は被安打1無失点の好投。センバツ出場校選考へ有力となる4強入りを果たし、夏春連続甲子園出場へ大きく前進した。

健大高崎は二回、相手投手の制球の乱れに乘じ、7番三木の右中間三塁打などで3点を先制。続く三回にも2点を挙げた。

被安打1、三木零封

Ⓜ:健大高崎が長短9安打で七回コールド勝ち。序盤から千葉英和の右腕艦居を攻略した。二回1死から連続四死球で一、二塁。7番三木の2点三塁打と秋山の左犠飛で先制した。三回は5番大沢が2点適時打。五回は長坂、内田の中軸で得点した。

先発三木は切れのある変化球を武器に7回無失点。内野安打をわずか1本許しただけだった。